



海外インターンシップ 受け入れに関する報告書

2025 年 9月29 日ー2025 年 10月31 日

北林 栄里
大阪労災病院

概要

・出身国

イギリス

・養成校

SAMK (Satakunta University of Applied Sciences) フィンランドの養成校

学生1名 (女性1名)



*SAMKの理学療法プログラムは、世界理学療法連盟 (World Physiotherapy) の完全認定を受けている。 <https://world.physio/what-we-do/education/accreditation/programmes>

<連絡先 (Contact information) >

・ Johanna VÄHÄ-JAANKOLA (ヨハンナ・ヴァハ=ヤッコラ氏)

Senior lecturer of physiotherapy Pt, MSc (理学療法専攻 上級講師)

Degree Program Coordinator in Physiotherapy (理学療法学位プログラムコーディネータ)

International contact person (国際交流担当窓口)

Tel: +358 44 710 6234

Email: Johanna.Vaha-Jaakkola@samk.fi

・実習先施設

大阪労災病院



<https://www.osakah.johas.go.jp/>

<連絡先 (Contact information) >

・北林 栄里 / Eri KITABAYASHI

大阪労災病院 中央リハビリテーション部 理学療法士

住所: 〒591-8025 大阪府堺市北区長曾根町1179-3

Tell: 072-252-3561 (代表)

・経過

2024/12/3 JPTA国際事業課のメール配信にて実習生の情報提供あり

2024/12/20 リハ部内で受け入れ承認得た後、院長から受け入れ内諾あり

2024/12/26 学生とEメールでやりとりを開始

2025/4/3 学生、学校教員、当院リハ部内の実習担当係とビデオミーティング(顔合わせ)

2025/4/17 Eメールのやりとりにて公文書へサイン(学生、学校教員、院長、スーパーバイザー)

2025/9/29 実習開始

・実習スケジュール

Internship Schedule

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
						Sep. 27
						Arrive in Osaka
28	29	30	Oct. 1	2	3	4
	8:00-15:00 Cardiology & Spine Team	8:30-17:00	8:00-16:30 8:15-8:30 Self-Introduction Presentation	8:30-17:00	8:30-12:00	
5	6	7	8	9	10	11
	8:30-17:00	8:30-17:00	8:30-17:00 Stroke & Orthopedic Surgery Team	8:30-17:00	8:30-12:00	
12	13	14	15	16	17	18
	Public Holiday	8:30-17:00	8:30-17:00	8:30-17:00	8:30-17:00	
19	20	21	22	23	24	25
	8:30-17:00 Gastrointestinal Surgery & Sports Team	8:30-17:00	8:30-17:00	8:30-17:00	8:30-12:00	
26	27	28	29	30	31	1
	8:30-17:00	8:30-17:00	8:30-17:00 Free day	8:30-17:00 Free day 16:30-17:00 Case Presentation or Reflection Session on the Internship	8:00-12:00 Free day	
2	3					
	Leave Osaka					

*実習時間が183時間必要と規定があったため、変則的なスケジュールリングとなった。

・実習期間

5週間

2025/9/29 ~ 2025/10/31

実習概要

・実習の目的

ヨーロッパ以外の医療現場を経験し、視野を広げること。大規模病院での経験がなかったため、新しい環境で自身の能力を試しつつ、日本の文化・言語・医療システムについて学ぶこと

・宿泊先

大阪労災病院宿舎 1ヵ月 約15,000円（別途光熱水費必要）

・緊急連絡先

養成校

・保険

任意の保険に加入

学校では海外へインターンシップに行く学生の前例がないとのこと

・入国後実習先の先生とのコンタクト方法

学生とはLINEを使用

養成校の教員とは実習前と実習後はメールを使用

実習中はデジタル共有プラットフォーム(Worksheed) をメインで使用

* 実習中の出欠や症例レポート、評価など提出物の管理をWorksheed通じて共有した

・実習関連書類

履修に関わるため、スーパーバイザーのサインが必要なものあり

*実習前は公文書へのサイン

*実習中は出欠や症例レポートの添削、評価を行った

・持ち物

ユニフォーム、靴など

当院のユニフォームを貸し出し、靴は持参

・コミュニケーション

基本は英語

実習前や実習中も日本語を学んでいたが、あいさつ程度のみ可能

セラピストや患者さまとのコミュニケーションは携帯翻訳アプリを使用

・謝金

1日につき3000円徴収 *今回学校から援助はなく、個人支払い

・レポートの作成（症例報告など）

あり。THAの症例を術前から退院時までを経験し、レポート作成

日本の実習生と同様に、評価や問題点抽出、エクササイズまでをバイザーとディスカッションしながら一緒に進めた

インターシップ前の情報共有

公文書へサインする前に顔合わせオンラインミーティングを開催

日程：2025年4月3日

時間：10:00am-10:45am (Finland)/4:00pm-4:45pm (Japan)

開催方法：Zoom

出席者：

Finland) Satakunta University of Applied Sciences

Student/ Tutor

Japan) Osaka Rosai Hospital

Head of Rehabilitation Dept. / Rehab Staff who related the internship

目的：実習開始前に顔を合わせてのコミュニケーション

実習の流れおよび必要書類の確認

議題：

1. Self-Introduction (10 min)
2. Introduction of Osaka Rosai Hospital (5 min)
3. Check the internship flow & Confirm the required materials (10min)
4. Answering of the Questions from student(15min)
5. Others(5min)



実習の様子

実習1週目に自己紹介、実習最終週に実習を経て学んだことをそれぞれプレゼンテーションにてスタッフへ共有する機会を設けた。スライドは日本語、発表は英語で行った。



PT場面

バイザーのみでなく各セラピストについて見学～模倣実習を行った



集団心臓リハビリテーション

日本の学生とペアとなり集団リハの体操を日本語で実施



OT場面

作業療法士、義肢装具士の見学を実施し、義手の患者さまと交流した

*患者さまご本人の承諾を得て写真を掲載しております



ST場面



病院外の交流

去年実習に来ていたフランスの学生がPTとなり再来日していたため、ウェルカムパーティを同時に行い、海外からの実習生同士が交流する場も設けた



リハビリテーション部のスタッフと食事に行くなど異文化交流を楽しんだ



実習最終日の様子

